

議案第 3 1 号

鯖江市税条例等の一部改正について

鯖江市税条例等の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和 4 年 5 月 3 1 日提出

鯖江市長 佐々木 勝 久

提案理由

地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令および地方税法施行規則等の一部を改正する省令が令和 4 年 3 月 3 1 日に公布されたことに伴い、鯖江市税条例等の改正を行いたいので、この案を提出する。

鯖江市条例 号

鯖江市税条例等の一部を改正する条例

(鯖江市税条例の一部改正)

第1条 鯖江市税条例(昭和30年鯖江市条例第38号)の一部を次のように改正する。

第33条第4項を次のように改める。

4 前項の規定は、前年分の所得税に係る第36条の3第1項に規定する確定申告書に特定配当等に係る所得の明細に関する事項その他施行規則に定める事項の記載があるときは、当該特定配当等に係る所得の金額については、適用しない。

第33条第6項を次のように改める。

6 前項の規定は、前年分の所得税に係る第36条の3第1項に規定する確定申告書に特定株式等譲渡所得金額に係る所得の明細に関する事項その他施行規則に定める事項の記載があるときは、当該特定株式等譲渡所得金額に係る所得の金額については、適用しない。

第34条の8第1項中「特定配当等申告書」および「特定株式等譲渡所得金額申告書」を「確定申告書」に改め、同条第2項中「申告書に係る年度分の個人の県民税」を「確定申告書に係る年の末日の属する年度の翌年度分の個人の県民税」に改める。

第36条の2第1項ただし書中「所得税法第2条第1項第33号の4に規定する源泉控除対象配偶者」を「所得割の納税義務者(前年の合計所得金額が900万円以下であるものに限る。)の法第314条の2第1項第10号の2に規定する自己と生計を一にする配偶者(前年の合計所得金額が95万円以下であるものに限る。)で控除対象配偶者に該当しないもの」に改める。

第36条の3第2項中「附記された事項」を「付記された事項」に改め、同条第3項中「附記し」を「付記し」に改める。

第36条の3の2の見出し中「扶養親族申告書」を「扶養親族等申告書」に改め、同条第1項中第3号を第4号とし、第2号を第3号とし、第1号の次に次の1号を加える。

(2) 所得割の納税義務者(合計所得金額が1,000万円以下であるものに限る。)の自己と生計を一にする配偶者(法第313条第3項に規定する青色事業専従者に該当するもので同項に規定する給与の支払を受けるものおよび同条第4項に規定する事業専従者に該当するものを除き、合計所得金額が133万円以

下であるものに限る。次条第1項において同じ。)の氏名

第36条の3の3の見出し中「扶養親族申告書」を「扶養親族等申告書」に改め、同条第1項中「あつて、」の次に「特定配偶者(所得割の納税義務者(合計所得金額が900万円以下であるものに限る。)の自己と生計を一にする配偶者(退職手当等(第49条の2に規定する退職手当等に限る。以下この項において同じ。)に係る所得を有する者であつて、合計所得金額が95万円以下であるものに限る。)をいう。第2号において同じ。)または」を、「控除対象扶養親族」の次に「であつて退職手当等に係る所得を有しない者」を加え、同項中第3号を第4号とし、第2号を第3号とし、第1号の次に次の1号を加える。

(2) 特定配偶者の氏名

第49条の7中「第2条第4項ただし書」を「第2条第3項ただし書」に改める。

第69条の2中「閲覧の手数料」を「閲覧(法第382条の4に規定する固定資産課税台帳に住所に代わる事項の記載をしたものの閲覧を含む。)の手数料」に改め、「交付」の次に「(法第382条の4に規定する当該証明書に住所に代わる事項の記載をしたものの交付を含む。)の」を加える。

附則第5条の3の2第1項中「令和15年度」を「令和20年度」に、「令和3年」を「令和7年」に改める。

附則第14条の3第2項を次のように改める。

2 前項の規定のうち、租税特別措置法第8条の4第2項に規定する特定上場株式等の配当等(以下この項において「特定上場株式等の配当等」という。)に係る配当所得に係る部分は、市民税の所得割の納税義務者が前年分の所得税について特定上場株式等の配当等に係る配当所得につき同条第1項の規定の適用を受けた場合に限り適用する。

附則第15条の2第3項中「、第37条の8または第37条の9」を「または第37条の8」に改める。

附則第16条の11第4項を次のように改める。

4 前項後段の規定は、特例適用配当等に係る所得が生じた年分の所得税に係る第36条の3第1項に規定する確定申告書に前項後段の規定の適用を受けようとする旨の記載があるときに限り、適用する。

附則第16条の11の2第4項を次のように改める。

4 前項後段の規定は、条約適用配当等に係る所得が生じた年分の所得税に係る第36条の3第1項に規定する確定申告書に前項後段の規定の適用を受けようとする旨の記載があるときに限り、適用する。

附則第16条の11の2第6項中「年の翌年の4月1日の属する年度分の」を「年分の所得税に係る」に、「条約適用配当等申告書にこの項」を「確定申告書にこの項」に改め、「（条約適用配当等申告書にこれらの記載がないことについてやむを得ない理由があると市長が認めるときを含む。）」を削る。

附則第34条を削る。

（鯖江市税条例の一部を改正する条例の一部改正）

第2条 鯖江市税条例の一部を改正する条例（令和3年鯖江市条例第10号）の一部を次のように改正する。

鯖江市税条例第36条の3の3第1項の改正規定中「控除対象扶養親族を除く」を「年齢16歳未満の者」を「扶養親族（」の次に「年齢16歳未満の者または」を加え、「有しない者を除く」を「有する者」に改める。

附則第2条中「の規定中個人の市民税に関する部分」を「第24条第2項および第36条の3の3第1項ならびに附則第3条の3第1項の規定」に改める。

附 則

（施行期日）

第1条 この条例は、令和5年1月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（1） 第1条中鯖江市税条例第33条第4項および第6項、第34条の8第1項および第2項、第36条の2第1項ただし書、第36条の3第2項および第3項ならびに第49条の7の改正規定ならびに同条例附則第14条の3第2項、第16条の11第4項ならびに第16条の11の2第4項および第6項の改正規定ならびに第2条（鯖江市税条例の一部を改正する条例（令和3年鯖江市条例第10号）附則第2条の改正規定に限る。）の規定ならびに次条第3項の規定 令和6年1月1日

（2） 第1条中鯖江市税条例第69条の2の改正規定ならびに附則第3条の規定民法等の一部を改正する法律（令和3年法律第24号）附則第1条第2号に掲げる規定の施行の日

(市民税に関する経過措置)

第2条 第1条の規定による改正後の鯖江市税条例(以下「新条例」という。)第36条の3の2第1項の規定は、前条本文に掲げる規定の施行の日(以下この項および次項において「本文施行日」という。)以後に支払を受けるべき第36条の3の2第1項に規定する給与について提出する同項および同条第2項に規定する申告書について適用し、本文施行日前に支払を受けるべき第1条の規定による改正前の鯖江市税条例(次項において「旧条例」という。)第36条の3の2第1項に規定する給与について提出した同項および同条第2項に規定する申告書については、なお従前の例による。

2 新条例第36条の3の3第1項の規定は、本文施行日以後に支払を受けるべき所得税法(昭和40年法律第33号)第203条の6第1項に規定する公的年金等(同法第203条の7の規定の適用を受けるものを除く。以下この項において「公的年金等」という。)について提出する新条例第36条の3の3第1項に規定する申告書について適用し、本文施行日前に支払を受けるべき公的年金等について提出した旧条例第36条の3の3第1項に規定する申告書については、なお従前の例による。

3 前条第1号に掲げる規定による改正後の鯖江市税条例の規定中個人の市民税に関する部分は、令和6年度以後の年度分の個人の市民税について適用し、令和5年度分までの個人の市民税については、なお従前の例による。

(固定資産税に関する経過措置)

第3条 附則第1条第2号に掲げる規定による改正後の鯖江市税条例第69条の2の規定は、同号に掲げる規定の施行の日以後にされる地方税法第382条の2の規定による固定資産課税台帳(同条第1項ただし書の規定による措置を講じたものを含む。)および第382条の3の規定による証明書(同条第1項ただし書の規定による措置を講じたものを含む。)の閲覧および交付について適用する。